

第13回 山口県小学校体育実技研修会アンケート集計結果

アンケート回答総数 70名

■研修会全体の印象を教えてください。(○をつけてください。)

大変満足している	満足している	あまり満足していない	満足していない
45名(65%)	17名(24%)	0名	0名

※無回答 8名(11%)

■日野先生の講義・実技指導について、ご感想をお書きください。

【講義】

- ・ 現在の児童の実態を踏まえた説明で映像や資料もあり、分かりやすかった。(25名)
- ・ 新学習指導要領について要点を教えていただき、とても勉強になった。(8名)
- ・ 体育の授業で、「子どもにやさしい」授業のための観点を具体的に教えていただいた。課題・条件・言葉の3つに気を付けて授業づくりをしていきたい。(7名)
- ・ 工夫された実践を学べてよかった。今後さっそくやってみたいと思った。(3名)
- ・ 子どもに自信をつけ、もっと運動がしたいと思わせるような授業づくりの視点が大切だと分かった。(2名)
- ・ テレビ番組からも学びは多いのだなと感じた。(2名)
- ・ 各領域のポイントが押さえられ、ポイントにそった指導の在り方がよく分かった。(2名)
- ・ 運動が苦手だと感じている子どもの気持ちを先生が理解していらっしゃることを感じた。
- ・ 私たちが知識をつけ、子どもの気持ちになることが大切だと分かった。
- ・ 運動が苦手ですまずいている児童に対して、どのようにアプローチしていくべきかを学ぶことができた。
- ・ とても分かりやすく、自分の考えを深めることができた。
- ・ 日野先生の、愛あるやさしい授業の話聞き、わたしも愛ある体育の授業をしていきたいと思った。
- ・ 子どもの能力に合わせてルールや用具を決め、シンプルだが奥深い活動を設定することが大切だと学んだ。
- ・ 一生懸命に頑張っているからこそ、つまずく子どもに適切なスモールステップを示し、笑顔を引き出していきたいと思った。
- ・ 児童にもポイントとなる部分を映像で見せて説明していきたいと思った。
- ・ シンプルで分かりやすく純粋に楽しめると感じた。
- ・ 一つ一つの動きを細かく分けて、ポイントを踏まえた指導をしてくださったので今後の指導に生かせると思った。
- ・ 実技とつなげて学ぶことができた。
- ・ どのような子どもになってほしいのか、どのようにして教えるのかをしっかりと考え、体育

の授業を組み立てていきたいと思った。

- ・ どの子にとっても満足感が得られ、ハードルが高すぎず、楽しいものでなければならないことが分かった。
- ・ 「愛顔」を引き出すということを大切にして、自分の指導を見直したいと思った。
- ・ 体育は「愛顔」をつくるという話がとても大切だと感じた。「できる」ことを目指すのではなく、その過程を大切にしていきたい。
- ・ 児童がつまずきやすいポイントがよく分かった。
- ・ 一つずつ楽しみながら教えていくことの大切さについて考えることができた。
- ・ 教師の教材理解が深まると、よい授業になると改めて感じた。
- ・ 運動と運動をつなげることの大切さと難しさを感じることができた。
- ・ 体育の授業では、雰囲気をつくり、体の動かし方を一つ一つ確認することが大切だと学んだ。
- ・ 子どもの運動経験不足や活動の複雑さによって、運動を楽しめないということがないように、環境・雰囲気・教材研究をしていく必要があると感じた。
- ・ 実技指導の際の本質的ねらいについて説明していただいたので、何を意識すればよいのか、どうしてその練習をするのかという意図がよく分かった。
- ・ もっとくわしく知りたいことがたくさんあり、2日あってもよい程の内容だった。

【実技指導】

- ・ 実践できるものが多く、取り組んでみたいと思った。(15名)
- ・ 身をもって楽しく学ぶことができ、参考になった。(12名)
- ・ とても充実した楽しい実技指導だった。2学期からの指導を充実させていきたい。(4名)
- ・ ペーパーを使ったリレーなど、教材教具の工夫が参考になった。(4名)
- ・ 運動のポイントをわかりやすく教えていただき、授業でどのような声かけや指示をすべきか考えながら参加することができた。(3名)
- ・ 正しい動きや体の使い方について丁寧に指導していただき、自分自身も思考し工夫しながら活動できた。このような姿が体育科授業の中で子どもの姿として見られるように、指導方法を工夫していきたい。(3名)
- ・ 体ほぐし、短距離など多くの内容を体験でき、これなら子どもも笑顔になりそうだという活動を見付けることができた。(2名)
- ・ 動きのポイントがよく分かり、考えながら意識して動くことができた。(2名)
- ・ リレーのバトンパスの練習が印象的だった。ぜひ実践してみたい。(2名)
- ・ 段階的に学習することで、取り組みやすく少しずつ確実に力をつけることができた。(2名)
- ・ 陸上は、陸上記録会や持久走・運動会などの行事のために行っていたが、スピードアップ走など単元として取り組めると分かったので実践してみたい。

- ・ 周りを盛り上げながら行う運動が大変勉強になった。
- ・ グループでどうしたらもっとよくなるかを話し合うことで、次の活動につなげることができた。
- ・ 待っている人も関わる場面を作ることが大切だということが印象に残った。
- ・ 運動量もしっかりあり、いい運動になった。
- ・ 体を動かすことの楽しさを感じさせるための手立てについて学ぶことができた。
- ・ ポイントを押さえて実践すると、目標が明確になり、自分なりに挑戦することができた。
- ・ 楽しみながら学習するために、教材を工夫することや自分に合った課題を設定することを学ぶことができた。
- ・ 運動の本質を理解し、楽しみながら取り組めるよう、子どもに合ったやさしい課題を意識して指導していきたいと思った。
- ・ 自分でやってみることで、何が難しいのかが分かり、子どもも感じているのだと思った。
- ・ 児童が楽しんで取り組めそうな活動を取り入れ、運動に対する抵抗を少しずつ減らしていきたい。
- ・ 実技の途中で指導もあり、改善しながら取り組むことができた。
- ・ できそうでできない動き、しかし少し頑張ればできる動きこそが、子どもたちにも分かりやすく楽しいのだろうと思った。
- ・ 走る運動の具体的な体の使い方がよく分かった。
- ・ 仲間と協力して行う活動を通して、体育の楽しさに気づき向上していくことができることを学んだ。
- ・ クラスの雰囲気をおおらかにしておくことで、ボールの取り合いなどのめめごとを防げるのだと感じた。
- ・ 紙をバトンとして使うことで、リレーのパスについて口頭で説明するよりも、より感覚的にわかりやすく、子どもも楽しく学習できると思った。
- ・ 実技を通して少し自信がついたので、子どもたちに指導していきたい。
- ・ 投げる運動のコツや体の動かし方・位置がとても参考になった。
- ・ 体がやわらかくなった。
- ・ 日頃やっていない内容で、ためになった。
- ・ 少しずつ難しくしたり、作戦を考えて行うことが大切だと分かった。
- ・ 実技メインでとてもよかった。
- ・ 抵抗なくだれでも取り組める内容で、楽しく運動することができた。
- ・ 今日のように走の授業では、チームや仲間を意識させることができていなかった。今日学んだことを二学期に生かしていきたい。
- ・ わかる・できるようになるということも楽しさの大きな部分だと思った。
- ・ 更に他の練習も体験してみたいと思った。

■運営面でのお気づきがありましたらお書きください。

- ・ 実技の内容をホワイトボードにまとめられていてよかった。(4名)
 - ・ 時間も進行もスムーズでよかった。
 - ・ お弁当がおいしかった。
 - ・ 冷房が効いたすずしい会場で、動きやすかった。
 - ・ 丁寧なサポートで助かった。
- △ マイクの音が反響し、指示が聞き取りづらかった。(26名)
- △ いすがあるとうれしい。
- △ 実技の際に、男性とペアになり持ち上げるなどの動きがきつかった。

■次回の研修内容や運動の領域などについて、ご要望がございましたらお書きください。

- ・ ボール運動(6名)
- ・ タグラグビー
- ・ ゲーム領域
- ・ 体づくり運動(2名)
- ・ マット, 跳び箱, 器械運動(7名)
- ・ 跳の運動(2名)
- ・ 投の運動(2名)
- ・ 評価の仕方までの流れでご指導いただきたい。
- ・ オリンピック, パラリンピック競技について。
- ・ 新学習指導要領について。